

2014年1月1日

年頭のご挨拶

国際社会も日本も今年は混濁の年となる様相を示しています。その奥底には人間の煩悩が渦巻いていて、社会における正義、誠実、真理、信義などのゴールデンルールが軽んじられる困った時代になったと私は心配しています。

さて、私達が活動する日本早期認知症学会は学問の世界です。世間の風潮に迎合することなく、理事・会員の心を一つにして、ここ4年ほど「開かれた学会」への道を邁進してまいりました。昨年9月に浜松で開催した第14回大会で、「脱皮ができた」との確信の声を内部から聞かれましたが、外部より御招きした講師の先生がたからも「新生学会として立派に成長した」と嬉しい評価を頂きました。

この結果、今年は外部の認知症関連団体や該団体の役員の先生方と連携する新しい企画が色々と持ち上がっています。

その第1段が、専門別研究会・地域研究部会の開設です。専門別研究会とは、同じ研究課題に取り組んでいるグループの研究活動に学会から奨励金を差し上げる制度です。日本早期認知症学会の研究課題は多岐にわたっていて、年1回の大会では物足りない方のために設けた研究会です。一方、地域研究部会はその地域の会員が集う研究活動を支援するために奨励金を差し上げる制度です。ホームページや学会誌に規定を掲載しますので、是非応募頂きたくお願いいたします。既に検討を始めたグループがあります。

また、従来から大会において共催セッションを設けている日本生体医工学会 BME on Dementia 研究会とは、今後15回大会、16回大会、17回大会の共催が決定しました。それ以外団体とのコラボレーションの計画も検討されています。

理事・会員が一体となって、今年も日本早期認知症学会の新たな展開に御支援・ご協力頂きたく、よろしくお願い申し上げます。

日本早期認知症学会理事長
志村 孚城